



議会だより

21年度予算が決まる…… P2

プレミアム商品券で消費拡大を

3月補正予算…………… P8

討 論…………… P10

市政を問う

一般質問 13人… P13



厳しいなかでも 新規事業 21年度予算が決まる

一般会計 111億6,300万円

一方歳出については、新規事業として、総務費では新幹線嬉野温泉駅周辺整備に1180万円、商工費では観光芸能・湯の端座整備に83万円、湯けむり広場整備に491万円などがあります。

全体の比率を見ると、民生費（高齢者福祉・生活保護など）が最も多く34.2%、次いで総務費が14.6%となっています。

20年度借入金総額見込みは90億6947万円だったのに対し、21年度見込みが89億2474万円ですので、前年度より1億4473万円減少しています。

しかし、基金（積立金）の残高は20年度末現在高35億2312万円に対し、21年度末見込みは30億7409万円と大きく減少しますので、依然として厳しい財政状況に変わりはありません。

今後、国の地方自治体に対する支援策に期待しつつ、嬉野市でも、財政破綻に至らないよう、行財政運営に努力していくことが必要です。

ごみ袋の料金が今年10月から改定されます。

○家庭系可燃物・不可燃物（大） 30円→40円
○同（小） 15円→30円
○リサイクル用 10円→20円
○事業系持ち込み専用 80円→100円
○持ち込み粗大ごみ 積載量2トンの未満の車

平成19年度の本市のごみ処理費用は、杵藤クリンセンターへの負担金など約2億4270万円です。ごみ袋の売上げや有価物売却益の6579万円などを差し引いても約1億7700万円の大増

21年度各会計のあらまし

会計名	21年度当初予算	20年度当初予算	比較
一般会計	11,163,000	11,010,000	1.4
国民健康保険特別会計	4,003,672	3,982,073	0.5
老人保健特別会計	15,316	367,870	△95
後期高齢者医療特別会計	332,838	333,606	△0.2
農業集落排水特別会計	1,112,381	691,512	60.9
公共下水道事業特別会計	365,596	248,871	46.9
嬉野第7区画事業特別会計	342,694	254,519	34.6
嬉野第8区画事業特別会計	212,732	202,402	5.1
水道事業会計			
収益的収入	762,893	779,088	△2.1
収益的支出	731,423	756,938	△3.4
資本的収入	74,111	41,818	77.2
資本的支出	525,741	577,973	△9.0

単位：千円・%

10月からゴミ袋等料金が改定されます



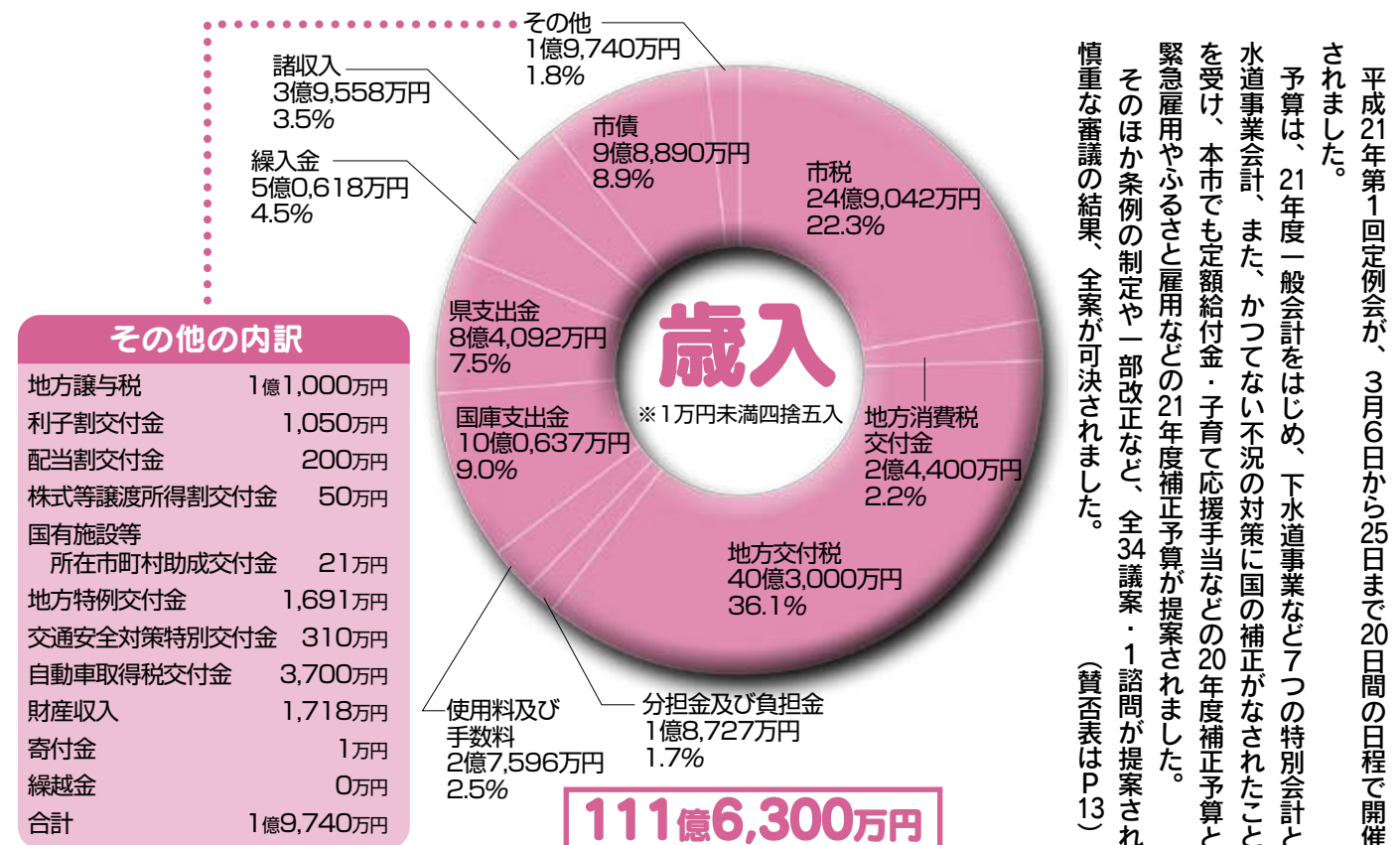
▲ゴミの減量が望まれる

な赤字となっています。議会でも嬉野地区の水道料金改定に加え、さらに生活必需品であるごみ袋の値上げは市民生活にとって厳しいのでは、という議論もありました。

しかしながら、北京オリンピック以降、金属類など有価物の売却益が減少し、今後も赤字が減る可能性は低いので、改定に踏み切ったものです。

ごみ袋や手数料の値上げにより、1年間で13

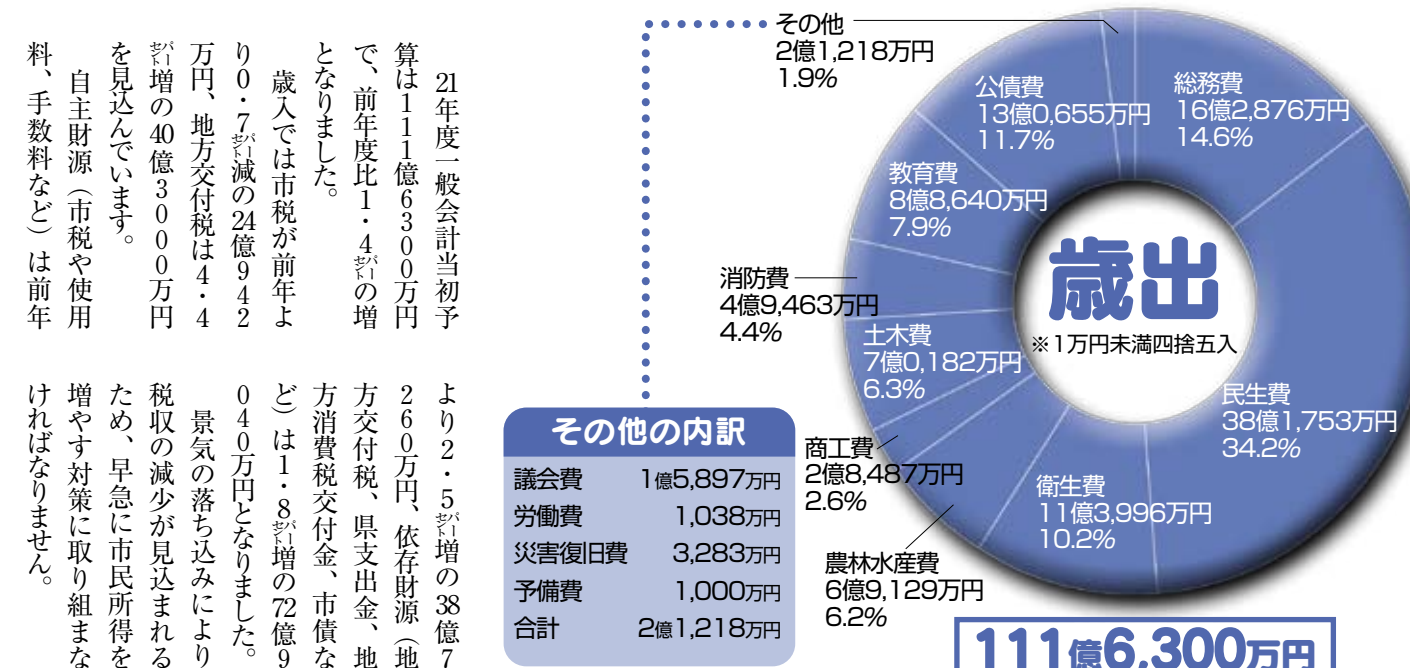
00万円程度の収入増が見込まれます。



平成21年第1回定例会が、3月6日から25日まで20日間の日程で開催されました。

予算は、21年度一般会計をはじめ、下水道事業など7つの特別会計と水道事業会計、また、かつてない不況の対策に国の補正がなされたことを受け、本市でも定額給付金・子育て応援手当などの20年度補正予算と緊急雇用やふるさと雇用などの21年度補正予算が提案されました。

そのほか条例の制定や一部改正など、全34議案・1諮問が提案され、慎重な審議の結果、全案が可決されました。（賛否表はP13）



21年度一般会計当初予算は111億6300万円です。前年度比1.4%の増となりました。

歳入では市税が前年より0.7%減の24億942万円、地方交付税は4.4%増の40億3000万円を見込んでいます。

自主財源（市税や使用料、手数料など）は前年

より2.5%増の38億7260万円、依存財源（地方交付税、県支出金、地方消費税交付金、市債など）は1.8%増の72億9040万円となりました。

景気の落ち込みにより、税収の減少が見込まれるため、早急に市民所得を増やす対策に取り組みなければなりません。

その他の内訳

議会費	1億5,897万円
労働費	1,038万円
災害復旧費	3,283万円
予備費	1,000万円
合計	2億1,218万円

新幹線嬉野温泉駅の 周辺整備基本計画策定へ

嬉野温泉駅の周辺整備に関しては、平成20年度に基本構想が策定されています。

21年度はこれをもとに駅前広場や幹線道路などの基本的な都市機能の整備方針を立てるため、「新幹線嬉野温泉駅周辺整備基本計画」に1180万円を、また周辺地区の整備を進めるための調査費に2200万円が計上されました。

今後は、バリアフリー

の街づくり構想と新幹線街づくり協議会から出された意見をもとに、官民協働で新幹線を生かした街づくりについて議論を深めていくことになりま

す。いよいよ本格的に新幹線「嬉野温泉駅」の建設に向けて動き出します。より良い駅を作り上げていくために十分な議論がなされ、早急に計画が策定されることを望みます。



▲始まったトンネル工事前仮設道工事

市職員に 人事評価制度を導入

地方公務員法第40条では地方公務員にも勤務成績の評定を義務づけていますが、平成22年度に「人事評価制度」が改正・施行されることになり、評価制度構築のための予算が計上されました。本市においては健全な財政運営を目指して行財政改革が進められていますが、職員も減少するな

かで、いかに市民への行政サービスを低下させずに運営していくかが課題になります。

このようななか、人事評価制度が導入され、公正な評価をおこなうことにより、人材の活用や育成につなげていくことが重要と思われる。

今後はさらに地方分権が進行するので、地方自

乗り合いタクシーの 路線拡大へ

嬉野市内のバス運行については、国道34号線や498号線などの幹線道路を走る生活交通路線が3系統と、それにアクセスする形で県道などを走る廃止路線代替バスと呼ばれる路線が5系統走っています。

いずれの路線についても便数が少なく利便性が十分でないうえ、地域内の移動は、マイカーが主体となっていること、旅

館、病院やデイサービスなどの送迎利用などからバスの利用者は減少の一途をたどっており、比例して収益も減少し、ほとんどの路線が赤字経営になっています。

このようななか、地域公共交通のあり方を総合的に検討していくための地域公共交通会議が昨年設置され、そこで検討された結果、現在は塩田の上久間線において、乗合



▲平山～堤の上を運行中の乗り合いタクシー

タクシーの運行がおこなわれています。

今年10月より、大野原線や春日線についても乗合タクシーの実証試験が

計画されていますが、交通弱者に配慮した運行計画を望みます。

社会文化体育館建設委員会を

設置

嬉野市では、古湯温泉建設、茶業研修施設、社会文化体育館建設、泉源の集中管理という4つのリーディング事業があり、平成18年8月以降、15回の協議がされました。

その一つである社会文化体育館についても答申が出されましたが、建設場所については一カ所に特定するには至りませんでした。

今年度、あらためて建設推進をはかるため建設委員会を設置することとなり、委員は各種団体から14名、市民の安心安全を考慮し、災害など専門知識をもっておられる方を1名、計15名で構成されます。

それに伴う予算として、34万2000円が計上されました。

委員会設置について、議会でもいろいろな意見があり、「委員選出にあたっては塩田からのみ出すべきだ」とか、「地域

を限定するべきでない」「体育館と文化施設は切り離さないと、音響設備などに経費が多くなる。嬉野の公会堂も古いので、文化施設は新幹線の駅に近い所にするべきだ」などの声もあり、また「文化施設については合併特例債を使って建設すれば、収益事業はできないため、今後のランニングコストなど考えた場合、使用の制限がある」との意見もありました。

いずれにしても、施設については塩田地区の長年の懸案事項でありますので、納得のいく形で進められることが望まれます。

温泉情緒の復活へ



▲華やかな芸妓さんたちの踊り

親和銀行の寮跡地には、温泉の泉源があり、旧嬉野町が購入していました。交差点拡張工事が終了したので、跡地利用の計画設計や泉源の汲み上げポンプ設置に491万円が予算計上されました。

湯けむり創出や、湯だまりで遊べる計画、障がい者用駐車場などを設置する計画です。

ただ、温泉地の雰囲気をかもしだす湯けむり創出は、温泉街全体を対象とした計画が必要です。湯の端座整備事業は、

情緒豊かで温泉地ならではの芸能文化を発信するために、古湯温泉近くの旧旅館を改修し、踊りの稽古場と茶屋などを整備する予定です。

近年は、女性の観光客が、芸能文化の情緒を楽しまれるようになり、来年3月に完成予定の古湯温泉との相乗効果が生まれることを期待します。

また、古湯温泉を核とした街並み整備を早急に計画する必要があります。

佐賀県遺産の

旧美野分教場を保存修理

旧美野分教場は昭和2年に地域の大工さんなども加わって建設され、築82年を経過し、瓦の落下、外壁、窓枠など構造の傷み、老朽化が進み、危険度がましており、早急な修理が必要です。

今回、保存修理費用に1360万円の予算が付き、このうち、県からは500万円が補助されます。

ここは昭和初期における学校建築としては貴重な建物で、平成20年2月

に22世紀に残す佐賀県遺産に認定されています。

保存修理をおこなうことで、周辺施設と連携したイベントも開催することができ、旧長崎街道沿線の多目的施設として、また、地域の語らいの場として活用することができ

ます。今後は市が管理する予定ですが、議会のなかでは、指定管理者制度にしたかどうか、などの意見もありました。



▲修理後の活用が望まれる旧美野分教場

塩小・塩中学校舎の耐力度を調査

塩田地区における学校施設の補強・改築などの検討材料とするため、耐力度調査の予算が計上されました。

調査は校舎の構造耐力、経年による体力低下、立地条件などによる影響について総合的に評価するもので、強度の不足した建物は国の補助を受け改築ができます。

今回は、塩田小学校と塩田中学校の調査がおこなわれる予定です。

塩田小学校は、3階建ての構造で老朽化が進んでおり、現在耐震診断の

結果を待っている状態ですが、かなりの低い数値が予想され、多大な補強工事が見込まれます。

塩田中学校については平成18・19年度に実施した耐震診断の結果を踏まえ、普通教室棟と特別教室棟の調査を実施し、今後の判断材料とします。

議会では学校問題特別委員会の中間報告が提出されましたが、今後も幅広い議論を重ね、子ども達により良い教育環境を整えていくことが重要だと考えます。



▲調査がおこなわれる塩田小学校

消防施設の充実のため 防火水槽などに1400万円

21年度の消防施設費のうち、西山地区に40口の有蓋防火水槽（地下埋設式）が設置されます。

この地区には、無蓋防火水槽が1カ所と消火栓が11カ所設置されていますが、大きな堤などの水源もなく、平成20年5月に発生した建物火災においては水利の確保に苦慮した経緯がありました。

今回、西山地区の中心地付近に防火水槽を設置することにより、水利の確保が若干容易になると思われます。

また消防積載車は合併後、塩田地区から順次入れ替えてきましたが、今回は嬉野地区の老朽化した2台の車両（平成4年式）を入れ替えます。

小型動力ポンプについて

ブックスタート

スタート

赤ちゃんをひざに抱っこして絵本を読み聞かせるなど、親子のふれあいや、乳幼児の時期から本に親しむ機会を設けるためのブックスタートが始まります。

市内の新生児約200名が対象で、絵本や本を紹介するブックリストの配布に20万円の予算が計上されました。

6カ月検診での実施を

目標に計画しています。

ブックスタートは県内では伊万里市、武雄市などですでに取り組まれており、図書活動も活発です。

本市でも学校や図書館で、子ども達への読書推進活動がボランティアの方々によって活発におこなわれており、さらに本への興味が高まることを期待します。



▲21年度の入退団式

では、平成2年に購入した

1台を交換します。

消防施設のなかでも有

蓋防火水槽は、住宅密集地でも未整備の地区が多く、各地区から設置への強

い要望があります。

今後も計画的な整備が必要です。

水害対策のハザードマップ作成へ



▲他市のハザードマップ

佐賀県では、水防法に基づき塩田川水系の浸水想定区域を平成20年1月に指定しました。

これにより、市では国・県の補助を受け、自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示する「ハザードマップ」を作成することになりました。

このマップは、地区ごとに過去にあった災害での浸水状況などを被害住民の皆さんから聞き取り

もに、ひとり一人の要援護者に対して複数の地域支援者を定めて、具体的な避難支援計画を策定することとしています。

この避難支援事業は、国の計画のもとにそれぞれの自治体において取り組まれています。

ただ、個人情報取り扱いなど、運用については各自治体とも情報をどこまで共有していくのか、などの問題点も指摘され

姉妹都市提携へ交流が始まる

ポルトガルのリベira・グランド市は大西洋に浮かぶアソールズ諸島にあり、人口約3万人で欧州には珍しく緑茶を生産する市です。

緑茶以外にも島内に火山を源泉とする温泉リゾートが近隣の市にあるなど、嬉野市と通じるものがあります。

佐賀にゆかりのある前大使が、嬉野市を紹介されたこともあり、本市との姉妹都市提携を希望されました。

交流を深めるために、

国際交流団体への補助金や子ども達の絵や写真などの交換、茶生産者同士の情報交換などに11万3000円が計上されました。

この新規事業によって、ポルトガルの緑茶や温泉、シュガーロードなどの文化との繋がりをきっかけに、青少年交流・観光・経済・文化・スポーツなどの交流を深め、国際的視野をもつ人材を育成し、市民による両市の友好、発展をはかります。



▲ポルトガル領 アソールズ諸島

災害時に必要な要援護者の 状況把握に 423万2000円

災害などが発生したときに、ひとり暮らしの高齢者や障害者の方々の基礎となる情報をあらかじめ整備しておくことにより、安否の確認や救助をおこなううえで役に立ち、被害を最小限に食い止めることができます。

今回、要援護者（支援を必要とされる方）に関する情報を収集し、市が電子データ・ファイルなどで管理・共有すると

ており、これからの課題といえそうです。

人命にかかわる問題であり、慎重に取り組む必要があります。

20年度補正予算

伝統の釜炒り茶研修施設を移設

釜炒り手揉茶研修施設の移設が決まりました。この施設は、昭和59年度に現在の嬉野総合支所の正面駐車場の一角に建設されましたが、シロアリによる侵食がひどく、改修が望まれていました。現在は、生産者戸数も少なく生産量も減少している釜炒り茶ですが、嬉野茶のルーツでもあり、嬉野茶の歴史を語るうえで大変重要な製造方法ですので、後世に残さなければなりません。移設先は昨年3月に完成した茶業研修施設・嬉茶楽館（きんさらんかん）横に決まりました。嬉野茶の情報発信や、観光・研修拠点として相乗効果を出し、「うれしの茶」ブランドの強化に一役買ってくれることを期待します。



▲移設される釜炒り茶研修施設

みゆき グランドゴルフ場にトイレを設置

みゆき公園にあるグラウンドゴルフ場は多くのプレーヤーに利用されています。現在、仮設トイレが設

置されていますが、特に女性の方々から不便との指摘が多くあり、新しくゴルフ場の一角に設置されることになりました。女子トイレについては、和式1カ所、洋式1カ所。男子トイレは、小便器が2カ所、和式1カ所が計画されています。外壁はコンクリートで、屋根はカラースレートか鋼板のどちらかで造られる予定です。



▲現在の仮設トイレ

プレミアム商品券と宿泊券を発行

定額給付金交付に併せ、地域活性化・生活対策臨時交付金として、プレミアム商品券発行に1600万円・プレミアム宿泊券発行に600万円の補正予算が計上されました。プレミアム商品券発行総額は1億10000万円、1万円に10000円のプレミアムがつき、商

工会など市内12カ所で1人10口まで購入できます。商品券は取扱店登録をした事業所で使用することができ、市民の皆さんには、チラシや「商品券取扱店」ののぼり旗が目印です。使用期間は5月1日から10月31日までです。プレミアム宿泊券につ

定額給付金など支給へ

本市では、定額給付金補正予算4億7518万2000円が計上されました。

給付対象者は本市に2月1日現在で住民登録している方で、給付額は65歳以上の方と18歳以下の方は2万円、それ以外の方は1万2000円です。給付は4月24日から開始され、世帯主が指定する口座へ一括して振り込まれることになります。また平成21年10月1日

までに本庁・支所各総務課にて受け付け、それまでに手続きされなかった方は辞退したものとみなされ、支給されません。

給付金狙いの振り込め詐欺が多発することが予測され、注意が必要です。議会でも今回の給付金の是非については討論されましたが、少しでも消費の刺激になれば、とのことでも可決されました。本市では給付金をよりよく活用されるようプレ

ミアム商品券やプレミアム宿泊券が発行されます。給付金は預金するので、はなく消費すること、景気回復の後押しとなることが期待されます。

子育て応援特別手当

定額給付金と併せての国の補助で、多子世帯の幼児教育期の子育て負担軽減対策として1860万2000円が計上されました。

該当する子ども1人あたり3万6000円が支給され、申請書の交付・振り込み方法・期限は定額給付金と同じです。今年度限りの特別手当ですが、不況のさなか子育て支援の一助となることと思います。

21年度 補正予算 55人を緊急雇用します

不況によって雇用が厳しいため、リストラによる失業者が増えています。雇用の機会を創るために、国の全額補助で1億520万70000円の補正予算が計上されました。本市では「うれしの茶」品質向上対策事業、中学校部活動支援事業、市道環境保全事業、子どもの読書活動推進事業など緊急雇用のための9事業に、原則として半年間、29人が雇用されます。また、観光ボランティアの育成やイベントの企画立案を担うなどの観光



▶商品券のPRポスター

客受入促進事業、志田焼の里博物館周知強化・誘致増進事業、障害児・障害者対策特別事業などの9事業に1年間26人が雇用され、職種によっては最長3年間の雇用も可能となります。

を優先します。また、途中で退職された場合は、随時募集がこなわれます。本市の実情に基づく雇用内容ですが、一時的でも支援になることを期待します。

募集は、ハローワークを通しておこない、市内在住のリストラされた方



▲求職者が増えている職安

論

討

定額給付金について

平成20年度一般会計
補正予算（5号）



反対 効果が薄い

山田伊佐男 議員

定額給付金は、国全体で2兆395億円、事務経費825億円と多大な額を導入した。

多くの国民、経済学者が、その効果に疑問を持っている。

定額給付金の目的が当初の生活防衛から消費拡大へと変化したのが、不況

は深化し将来に対する不安が高まる中では受け取った給付金は貯蓄に廻る可能性が強く消費にはわずかしが流れないと予測される。

景気対策としてはあまりにも短絡的で、私は有効な手段と思えない。

現金給付と限定せず自由

由に自治体が用途を決定できるようにしておけば事務の負担の簡素化や政策実現の面でも極めて理に合ったものになったと考えるが、現金給付は一時的で効果は限られているので反対する。

給付金は税金のムダ使いだ

西村 信夫 議員



いうまでもなく定額給付金は国の政策であり、その是非を決するのは国会である。

国民の約8割が反対していた定額給付金制度は大変残念ながら国会で決定された。

定額給付金は選挙前のバラマキ以外のなものでもない。

国民の貴重なお金を税として集め、道路や学校、年金、医療、介護などの福祉政策など必要などころに政策判断するのが政治の果たす役割である。

生活支援や景気対策が必要ならば、減税を含め他の政策をおこなうのが妥当である。

なんら政策的な判断もなく、膨大な事務費をかけて配るだけでは税金のムダづかいであり、定額給付金制度に反対する。

最低の2・2割だ。

約4億6000万円もの給付金を多くの市民の皆様が待ち望んでいると考えるこの議案に賛成する。

賛 成

一日でも早い給付を

梶原睦也 議員



定額給付金は、景気悪化と物価高騰に苦しむ国民の生活を支援するとともに、個人消費を喚起し

景気を下支えることが目的だ。

当初、マスコミ等は定額給付金に対し、ばらま

きだとか、どうせ貯蓄にまわるだけだとか、何の根拠もない批判を繰り返していたが、これは、貯

蓄を取り崩して生活費に充てなければならぬ、あるいは取り崩す貯蓄もない庶民の生活実態をまったく無視したものである。

最新の調査では、収入のうち所得にまわる割合、いわゆる貯蓄率は、過去

平成21年度一般会計予算

新年度予算



反対

両町のバランスを欠いた予算案に反対

平野昭義 議員

合併まもなく機構改革を強行し、塩田町民には今日においても違和感が噴出している。

塩田の町民は、疲弊した農村に活力を与える企業誘致の計画に40人の地権者が協力されているが、21年度予算には1円の計上もない。

誘致活動の予算としては、ふるさと会（東京・大阪など）に一部補助されているが、効果は期待できない。

嬉野町においては、湯の端座を購入し、踊りの練習場として、湯けむり広場の整備などがおこなわれる。

観光協会の事業までな

議長交際費支出状況

平成21年1月1日～3月31日

（単位：円）

交際費の項目	件数	支出額
香典	0	0
供花	0	0
御祝	1	5,000
会費	4	30,000
その他	0	0
計	5	35,000

御祝…公的性格を有する団体への支出

会費…上部団体並びに公的性格を有する団体との協議会費

ぜ市が直接予算を立てるのか。

両町にとってバランス

を欠いた予算ではないかと考え、新年度予算に反対する。

賛 否 表

	番 号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	16	17	18	19	20	21
	結 果	表 決 数	小田 寛之	大島 恒典	梶原 睦也	秋月留美子	園田 浩之	副島 孝裕	田中 政司	川原 等	織田 菊男	荻塚 典子	神近 勝彦	太田 重喜	山口 榮一	野副 道夫	副島 敏之	田口 好秋	西村 信夫	平野 昭義	山田伊佐男	山口 栄秋
廃棄物の処理及び浄化槽に関する条例の一部改正	可決	18:1	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
平成20年度 一般会計補正予算（4号）	可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成20年度 一般会計補正予算（5号） 定額給付金関連	可決	15:4	○	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●
平成21年度 一般会計予算	可決	16:3	○	○	○	●	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
平成21年度 国民健康保険特別会計予算	可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
古湯温泉公衆浴場建設主体工事請負工事契約	可決	18:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度 水道事業会計予算	可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成

●は反対

除は除斥

欠は欠席

みんなの声を市政へ

陳情

市民の声を市政へ反映させ、諸問題の解決や実現のため、今議会へも5件の陳情書が出されました。各々の陳情書の主旨は全議員へ報告されました。

「伝統的建造物群保存地区」保存修理事業の推進を

●陳情者

塩田津町並み保存会
会長 杉光 和雄

「古湯温泉」建設について 管工事組合の分離発注と 地元業者優先発注を

●陳情者

嬉野市管工事協働組合
理事長 山中 岩男

路線バス運行費欠損補助を

●陳情者

祐徳バス株式会社
取締役社長 愛野 時興

シルバー人材センター事業の運営にご理解と就業の場を

●陳情者

(社) 佐賀県シルバー人材センター連合会
会長 山口 雅久
●陳情者
嬉野市シルバー人材センター
会長 大曲 榮

共同出資・協同経営で働く協同組合法(仮称)の速やかな制定を求める意見書提出を

●陳情者

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会センター事業団
長崎・佐賀エリアマネージャー
山口 雅久

ここから

一般質問

お茶の間で議会を

時間：質問当日の午後7時～
質問日時については、議会事務局におたずねください。
TEL 0954-66-9127

問 社会文化体育館建設 問題の今後は

副島 敏之 議員

答 再度委員会を立ち上げ早期に 取り組む



副島 今後の具体的な審議日程と対応は。

市長 今議会ですでにだければ、新年度からできるだけ早く取りかかりたい。

副島 市長の答弁に「専門的知識をお持ちの方」とあったが、その専門的知識者を含め、新年度からどのようなメンバー編成であられるか。

企画企業誘致課長 委員

市内企業・自営業の 現状と対策について

副島 国及び地方自治体は非常事態になっている。市内の企業及び農林業・商業も相当厳しい状況下にある。

緊急経済対策としての新規事業の創設、融資制度の見直しなど考えているか。

市長 市内で情報の収集を迅速におこない、商工会と連携をとって緊急融資制度に対応しており、すでに110件以上を取り扱い、現在も手続きをおこなっている。

次に、商工会と連携してのプレミアム商品券やお得な宿泊券事業を計画している。

また、市がおこなってきた補助は、前年とほぼ同額を確保して事業の停滞が起らないよう配慮した。

市の奨学資金制度の 見直しについて

副島 奨学資金貸付制度の見直しは。

教育長 毎年度かなりの

数の申請者があるが、1人あたりの額を増やす計画はない。
しかし、21年度は貸与人数を増やすため予算を増額している。

◀ 市内のお店で買いものを



問 水道水は安全か

園田 浩之 議員

答 安全で安心な水道水である



いる。

園田 嬉野町民の大半が飲む水を提供する、清水浄水場の上流に位置する産業廃棄物の最終処理場の経緯は。

市長 業者は昭和60年に資格を取られ、平成3年から安定型の処分場というところで営業され、県が許可した品目は、廃プラスチック・金属・金属くず・ゴムくず・ガラス・陶磁器くず・瓦れきの5品目に限定されている。

管轄している佐賀県の杵藤保健福祉事務所では立入検査などもおこない、市役所の職員も同行して

環境下水道課長 経緯は、平成3年より操業を開始され、平成17年と18年に代表者の変更があり、平成19年には社名の変更と同時に、操業当時の役員は辞任されている。

園田 認可の期日がことしの9月までだが、処分場としてかなりのスペースが残っている。

業者が県に対して更新の申請をされた場合は、**環境下水道課長** 県は業者に対し、地元説明会を開くように行政指導をするとのことである。

園田 市は県に対して何も関与できないのか。**環境下水道課長** 県より状況報告を受けるようになっており、県の指導で、業者が地元説明会を開催



▲最大の水源 岩屋川内ダム

された折には、市も説明会等に積極的に参加し、皆さんの御意見をお聞きしたい。

園田 両町合わせた嬉野市の水道水供給能力のうち、清水浄水場が供給する能力は。

水道課長 清水浄水場の供給量は全体の70割ぐらいだと思われる。

園田 処理場から数年後に汚染水が垂れ流されているテレビ報道をよく目にする今日、くれぐれも本市でそのようなことがないよう望む。

また、水質検査等については孫・ひ孫の代まで安全・安心な水が供給されるよう、水道課・環境下水道課としても、70割の嬉野市民が飲む水を供給する清水浄水場には、特に十分な配慮をおこなっていただきたい。

同様に、県の認可で市が関与できない部分には、くれぐれもチェックをお願いしたい。

問 地デジ放送への円滑な移行は

梶原 睦也 議員

答 県の支援センターと連携しながら対応する



になるものはないと考えている。

梶原 地デジが始まれば、現在使用中のアナログテレビはそのままでは見られなくなる。

デジタルテレビへの買い替えかデジタルチューナーの取り付けが必要である。

このことはケーブルテレビでも同様のことであり、

地デジ移行への徹底した情報提供が必要と考えるが。

市長 市の広報とともに各団体等の集まりや高齢者の方の集まりなどにかがいが説明していく。

梶原 市民の方からの質問や相談窓口はどこか。

市長 地域づくり課でこのことが県の支援センターと連携し取り組む。

梶原 生活弱者へのデジタルチューナーの補助はどのように考えるか。

市長 国では簡易型チューナーの配布や購入支援を計画されているが、具体的に説明を受けていないので今後の国の動きを見ながら進めていきたい。

問 3月末までに職を失う労働者は

西村 信夫 議員

答 市内で80人程度



西村 急激な経済状況の悪化を受け、非正規労働者の雇止めなど問題となっているが、嬉野市内の状況把握と対策は。

市長 今年になって厳しさを増しており、契約社員、派遣社員、パートなど80名程度に影響が

ある。

西村 本市の緊急雇用は直接雇用及び事業委託で55名の雇用を計画しているが具体的に示せ。

市長 市役所各課の施設管理、事務職、調査業務など直接勤務や観光協会などに委託勤務を計画している。

西村 緊急雇用はリストアップで職を失った人を対象に採用されるが、雇用期間中、就職活動の配慮をするべきと思うが。

市長 十分考慮して対応する。

農業問題（県間調整）

西村 佐賀県の21年産米削減量は昨年より1000ト増の8580トで、麦・大豆など転作を進めて6億8640万円の交付金をもらうが、本市の削減量と交付金は。

市長 削減量は67トで、7集落に交付金536万円を配分する。

西村 米と大豆を比較した場合10ア当りの農家所得は。

市長 大豆転作で裏作麦

作付けの場合、収入見込みは15万円。転作せず夢しずくを作付け、それに麦作付けの場合10ア当り17万5000円になる。

生産費（農業資材、労働費等の経費）は別。

水田等有効活用促進交付金について

西村 農水省は麦・大豆を21年度に作付けした新規転作田に交付金を助成すると公表したが制度の概要と計画は。

市長 転作は農家の判断



▲集落営農組合の大型コンバイン

で実施されるが、新規転作の拡大部分に10ア当り3万5000円（面積払い）の交付金である。

西村 19年度の緊急一時金対策から水田等有効活用交付金対策に乗り換え可能か。

市長 乗り換え可能であるが交付金の一部差し引かれる。

梶原 地デジ放送の開始により、字幕放送の充実や双方向番組などアナログ放送ではできなかったことが可能になる。

ぜひ、地デジの利点を活用すべきだ。

市長 今後いろんな形での取り組みを検討していく。

梶原 今後買い替えが進めば不法投棄の問題や振り込め詐欺などの悪徳商法の出現も予想されるが、その対策は。

市長 団体等の集会など

育児保険について

梶原 子育ての経済的負担を少しでも軽くするために育児保険制度の取り組みを検討すべきと考え

るが。



▲スムーズな地デジ移行を

問 自然を活かした 観光スポットの開発を

野副 道夫 議員

答 検討していきたい



野副 バブルが崩壊して観光産業は厳しい経営を強いられている。

四季折々に散策できるスポットの開発は、今後の観光振興に寄与するものと思える。

市長 健康保養の温泉地として、さまざまな体験ができるコースを準備できたかと考えてきた。

野副 春日溪谷・広川原キャンプ場・滝の観音の整備は。

市長 春日溪谷は、貴重な溪流散策コースとして利用されている。

野副 溪谷全体の中には

滝のように見えたり、また紅葉時の絶景ポイントとなる所がいくつかあり、手を加えれば良いスポットになると思うが。

市長 景観全体を検討したいと思う。

観光商工課長 現地調査を是非してみたい。

野副 広川原キャンプ場の景観は、もう少し紅葉木があればもっと楽しめるスポットになると思うが。

産業建設部長 前向きに検討する。

特定健康診査の 進捗状況は

野副 特定健康診査が20年度から始まった。

生活習慣病の発症を抑え、後期高齢者の医療費の適正化を目指しているが、進捗状況はどうか。

健康福祉部長 嬉野はつとステーションなど、映像も使って広報していく。

野副 今年は市長も対話集会を開催される予定のようだが、部長も出向いて受診対象者の理解を求めているのか。

健康福祉部長 直接訴えるのが一番効果があると思うので、色々な会合を利用したい。

野副 持出金を極力少なくするよう努力されたい。

対象者の理解が必要と考えるが。



▲春日の大桂の芽ぶき

問 社会体育館建設は町の 中心部に早期解決を

平野 昭義 議員

答 検討委員会を組織し早急に 方針を検討したい



平野 合併から4年目、私は、この問題で7回の質問となる。

塩田町民の長年の懸案事項であり、市長は迅速に取り組むべきでないか。

市長 新年度に15人以内で検討委会の組織をつくり早急に方針を示してい

く。

平野 同僚議員の一般質問で、委員は塩田町の地域の代表で組織すると、新聞に記載してあるが。

市長 特例債を前提としているので、幅広い地域を指している。

平野 駐車場が狭いと言われているが、例えば塩田中学校は開校時1116名の生徒であったのが現在は405名まで減少している。

校舎の合理的な建設計画の中で全面改築をしていけば、体育館の駐車場は十分確保されると考えるが。

副市長 議員の構想についても今後議論の必要があると考える。

平野 提案されている社会体育館の平面図は2分割されているが、一棟で建設すべきである。

市長 体育施設と文化施設双方を有効に活用されるよう、次の委員会でも検討していただく。

平野 体育館基本構想予算5百万円の使途は。

企画企業誘致課長 基本計画作成費が3百万円で、

問 体験型観光を推進せよ

田中 政司 議員

答 取り組んでいきたい

て、リーフレットなどを発行し、体験できることを紹介している。

今後は徹底をはかつていくとともに、他の団体と連携し、体験型観光のプログラム作成に早急に取り組みたい。



田中 近年、嬉野への観光客数は、入湯税の推移でいけばピーク時の6割程度まで落ち込んでいる。旅行者の形態も団体から小グループが主流となり、目的を持った旅行へと変化している。

市内の施設や自然などを活用し、異業種間の連携をはかりながら、癒し・学習・健康づくり・農作業などを体験・体感できるツーリズム観光、いわゆる体験型の観光を推進し、観光客誘致に向けた施策を展開すべきだ。

市長 既存の施設におい

全国の自治体へ 行政視察のPRを

田中 全国紙で実施されている第6回行政サービス調査のランキングにおいて、嬉野市は佐賀県内では1位、九州管内では11位にランキングされた。おおいに評価するし職員に敬意を表したい。

どういう点が評価され、今後どういう行政サービスを充実しなければならぬのか点検・整理し、全



▲袋大橋下河川敷から見た塩田中学校

残金は次年度へ繰越した。

塩田中学校改築問題

平野 平成27年度までに全面改築を目指されているが、検討委員会での議論は。

教育長 昨年6月から、児童生徒の減少・安心、安全の問題教育環境などについて議論してきた。最終は今月末、意見集約をする予定である。

平野 河川は大改修され上流のダム調節により水害から免れると確信する

古賀副市長は体験者としてどう判断しているか。

副市長 横竹ダムが完成してから、校庭までには水は達していない。

平野 27年までの改築に向けて時間的問題は。

財政課長 場所、規模も決まらない段階で答えるに、通常の、ゴーサインが出てから3年はかかると理解している。



▲定着してきた田植え体験ツアー

国の自治体などへ行政視察のPRをおこなえば、観光客誘致へもつながると考えるが。

市長 現在は年間30組程度の行政視察があり、以前嬉野町で取り組んだときは年間110組程度の視察に来ていただいた。

今後は、施策を整理しPRできればと考えている。

学校給食における 完全米飯化は

田中 21年度から嬉野市の給食費が値上げされる。

伊万里市においては、21年度より給食費の値上げ防止と、地産地消の推進を目的に、給食の完全米飯化がおこなわれる。

市長 現在嬉野給食センターでは週3日の米飯給食がおこなわれており、21年度からは週4日おこなわれる。

完全米飯給食は、他の自治体の状況などを見ながら運営委員会で検討いただければと考えている。

問 鳥獣害防止対策は地域による取り組みで

大島 恒典 議員

答 事業として有効に取り組みたい



体で35畝、金額で160万円と19年度の数字がでている。

農業施設に対する金額は把握できていない。

大島 生産基盤である施設（石垣や水路、土手など）への被害が深刻である。

駆除による対処療法も良いが、これからは地域で取り組み防除に力を入れるべきであると思うが。

市長 イノシシ被害の対策は、毎年多くの予算を組んでいるが、決定的に減少させるまでの成果がでない。

鳥獣害防止対策事業は、今回1地区に取り組んでもらい、他の集落からも申し出があれば今後取り組んでいきたい。

大島 東彼杵町では、地元負担金に配慮されており、広範囲な取り組みが進んでいる。

本市においても重点事業として防除事業に取り

組むべきと思うが。

市長 特別対策事業として取り組みが始められており、地域にあう方法をいろいろ考え、有効利用していく必要がある。

農地・水・環境保全向上対策の取り組みについて

大島 近隣自治体と農道舗装など一部について、取り組みめる範囲に違いが見られる。

同じ県内で国の事業として進められており、おかしいのではないか。

産業建設課長 内容については承知している。

隣町と違う。不公平感があるなどの声を受けており、現在、県と調整中である。

子どもと携帯問題について

大島 携帯電話やインターネットの急速な普及により、子ども達が犯罪や



▲イノシシの侵入を防ぐワイヤーメッシュ

問 市所有の温泉源活用は

神近 勝彦 議員

答 有効利用を考えている



えてきた。21年度予算で湯けむり創出と公園利用を検討していく。

所有の源泉は、一日6トで規模に限度がある。

また、福祉センターでの利用は、温泉源の状況が厳しく管理されているので、温泉審議会の許可申請などの課題を解決しなければならぬ。

市長 常に有効利用を考

公園・施設の受付は1階窓口で

神近 以前から何回となく質問してきたが、1階窓口で受付はできないか。一括対応できるように努力している。

また、パソコンの利用によって、もっと改善できないか研究している。

神近 嬉野支所では、2階の総務課が受付窓口だ。市民の利便性のために

は、1階窓口でできるようなしなければならぬ。難しい状況があり、引き続き改善の方向に向け努力する。

利用申し込みについて



副島 モデル地区として久間・大草野・吉田の3校区での地域コミュニティ運営協議会の正式発足に向けての進捗状況は。

市長 計画に沿って推進できており、準備会を立ち上げ、協議会設立に向けての組織、役員、事業などについて協議が進められている。

地域づくり課を中心に支援をして、地域での説明なども、小地区に分けて開催していきたい。

副島 20年度モデル地区とした、五町田校区と轟・大野原校区の協議の進捗状況は。

市長 轟小・大野原校区と五町田小学校区は、区長会で協議し、20年度からの取り組み開始についてご了解いただいた。

大野原校区については、集落としても非常に少なく、轟校区と一緒に活動

副島 吉田公民館では、市の業務として各種証明の発行などが行われているが、校区ごとのコミュニティセンターが稼動するようにすれば、同じような業務はできるのか。

市長 行財政改革とも合わせて、基本的にはできるように努力したい。

学校給食時間の延長は

神近 子ども達が給食で食事できる時間は10分前後である。

低学年において10分程度で食べてしまうことができるのか、

また、高学年でもメニューによっては食べきれない状況があるのではないか。

教育長 低学年は準備と食事に時間がかかっている現状があるが、着替えや準備の仕方、食事のマ

問 地域コミュニティ事業の進捗状況は

副島 孝裕 議員

答

20年度轟・大野原校区と五町田校区で取り組み開始



▲コミュニティ事業の拠点 吉田公民館

を始めていただいた。

副島 モデル地区の世帯数は1000世帯程度と聞いていたが、轟・大野原校区の場合1800を

超える世帯となるが。

市長 当初のコミュニティの活動の中で、大きく

ても2000世帯程度の考えもあり、轟・大野原校区は一つのコミュニティとして、それぞれの地域の活動も組み合わせながら、大きな形でできればいいのではと考えている。

それぞれの地区で地域コミュニティが立ち上がった後に、時期を定めておこないたい。

副島 コミュニティ推進には、市民への懇切丁寧な説明と、市民の自主的協力が最も重要である。

行政防災無線放送の推進について

市長 嬉野地区においては約900台配布し、現在半数程度が稼動、一方、塩田地区は全世帯配置しているが、アナログであり、両地区同時にデジタル放送に変更したい。中期財政計画では、平成25年ごろから3カ年事業で予定している。

ナーなどいろんな要素があり、単に時間の延長だけの問題とはいえない状況もある。

しかし、今後学校の現

状などをみながら、時間延長について検討しなければならぬ。



▲ゆた一つと福祉センターで入浴

問 県道・嬉野川柵線の全面改良に全力を

山田 伊佐男 議員

答 引き続き県に要望する



山田 不動小学校廃校からすでに19年経過しているが、平成22年までに全面改良となるのか。

市長 県も継続しておこなっているところだ。思っているが、県も厳しい財政事情であるので引き続き要望していく。

山田 県の財政も厳しいことは理解するが、不動小学校廃校時の経緯を十分踏まえて、今後とも強力に県と折衝していただきたい。

交付規則の徹底を

山田 補助金交付団体に對する指導は市、担当課の責務であるが、交付規則や交付要綱について周知徹底されているか。

市長 交付後に適切な利用について担当課で調査指導をし、監査委員も監査をしている。

教育長 旧嬉野町と旧塩田町とでは説明指導に若干の差があったと思う。

今後、補助金交付規則等においても指導を強化したい。

山田 補助事業の内容変更



▲いつになっても拡幅できない県道（下不動）

更が生じた場合の手続きはどうすればいいのか。

総務部長 変更が生じた場合は関係書類の提出を求めることになる。

山田 補助金は公金であることを補助事業者、団体に對し周知徹底をはかるよう強く求める。

観光立市として新たな観光施策は

山田 温泉があるから大丈夫だという時代は終わったと思う。

今後の観光施策は、どのようなことに重点をお

いて展開するのか。

市長 近隣観光地との連携、嬉野全体のブランド力の向上、医療福祉関係の施設との連携を強化して、健康保養施策の推進に期待をしている。

その他の質問

・「あつたかまつり」を観光客誘致の目玉としてPR手法の再構築を
・平成15年に策定された新エネルギービジョンの実現と、特に太陽光発電に市の補助を



答 327ヘクタール

太田 重喜 議員

問 耕作放棄地は

リー・キャベツなどを考えている。

作業林道について

太田 市内の農地面積の中で遊休地・耕作放棄地はどのくらいあるか。

市長 耕作が田で1520畝、普通畑で109畝、樹園地で783畝、放棄地は321畝、そのうち復旧使用できる土地は157畝となっている。

農業委員会事務局長

どこに緩傾斜地があるかなどの調査はしていない。

太田 以前質問した高齢者でも取り組める新規導入作目については。

市長 小ネギ・ワケギや塩田ではタマネギ・インゲン・ゴーヤ・ブロッコ

太田 開設した市有林内の作業林道の実態・効果と民有林所有者への広報と開設推進は。

市長 4年間で2250ヘクタール、間伐などをおこない成果が上がっている。

民有林等へも国・県の制度を研究し支援していきたいと思っています。

市長 整備計画には入れている。現地も知っているが、

問 指導者の雇用保険や研修の必要性は

秋月 留美子 議員

答 検討し、研修については委託料に組み入れるなどする



ず、3年ほどで辞めていく方が多いことや、子ども達の生活を預かる大事な仕事であるにも関わらず10年、15年以上勤めていても賃金も変わらなかったりパート扱いのままだったり、そのほか両町の違いもある。

委託先や現状はどのようなになっているか。

市長 嬉野地区では学校施設中心で、塩田地区では保育園施設中心でおこなわれている。

担当は、嬉野地区は社会教育課、塩田地区は福祉課となっている。

待遇等については同じ勤務状況であって待遇が著しく異なっていれば、調整をする必要があると思っています。

秋月 長年勤務されている方も多く、雇用保険があればといわれている。



▲保育園での放課後児童クラブ

雇用保険について良い方法がないだろうか。

健康福祉部長 塩田地区は各保育園での雇用であり、嬉野地区は指導員で学童保育連合会という組織を作っておられ、その連合会からの雇用となっている。

学童保育をおこなう国の基準額に併せた事業であり、そういったなかでの雇用保険についてどうなのかを検討する。

秋月 指導員の方々は勉

取り組めるか研究したい。

七郎森下・用水トンネル

太田 明治6年に計画され、30年に完工した。

七郎森下の木場川から温泉区の楓の木に至る水路は当時の人達の血と汗の結晶であり保護保存されるべきだ。

市長 農業用水としての使命はなくなっている。

排水路としては、今後公共下水道にと考えている。

太田 あの用水路上には、

不法構築物である温泉水の配管が多数あるが、法定外公共物の調査はどうなっている。

産業建設部長 温泉区については調査中である。判明次第、何らかの処置をしていきたい。

その他の質問

・バスセンターへの案内誘導看板の設置を
・みゆき公園梅林のPRについて

・蛍の情報を明確に
太田 市内の農地面積の中で遊休地・耕作放棄地



▲いのししを呼び込む耕作放棄地

長期的展望を含め 調査・検討



▲補強の済んだ普通教室棟

学校問題特別委員会では19年9月議会で設置されてから、塩田中学校の耐震問題、仮設校舎の設置などこれまで視察を含め、学校問題について、9回程度協議をしてきました。
そういったなか、特別委員会の中間報告が提出されました。
委員会では、塩田中学校の耐震補強が終了したことを踏まえ、今後の改築問題などについて、長期展望を含め調査・検討をおこないました。

学校問題特別委員会

中間報告

協議内容と

委員会の意見

財政面について

- ① 義務教育をおこなうための環境整備は必要であり、学校施設は市町村が整備しなければならぬが、建設には国庫補助が受けられる。
- ② 塩田中学校は、普通教室棟のみ耐震補強されたが、改築をおこなう場合は、強度的に補助に適合するか耐力度調査をしなければならぬ。
- ③ 改築をする場合、補助金を充当した残りの部分の95割は27年度までの期限付きで合併特例債の起債が可能であり、財源的には非常に有利である。

新校舎の建設場所について

以上のことから委員会としては、合併特例債を活用して校舎改築をおこなうべきである。

今後の小学校と中学校の関係について

- ① 市内数カ所の小学校においては、本年度中に耐震診断の結果が報告されるが、何らかの耐震補強の対応が必要と考えられる。
- ② 全国的な小字化問題や中学校における「中1ギャップ」の問題が提起されており、また校区内における小字化問題は深刻で、これまでに以上に生徒・児童数の減少が懸念される。

以上のことから委員会としては、各小学校の耐震補強の対応や小字化問題を考えた場合、将来的には小学校の統合や小・中一貫教育の対策も考え、それに対応できる立地条件を考慮した場所での改築を望む。

委員会レポート

熊本県
あさぎり町へ

合併後の まちづくりを調査

総務企画委員会

あさぎり町は平成15年4月1日球磨郡1町4村が合併し、人口1万7500人の人吉盆地に位置する山あいの町である。
合併時「サービスは高く、住民負担は低く」という方針で町政が始まったが、合併直後から財政状況は厳しく、三位一体改革の影響も受け、当初予定した地方交付税が1年あたり15億円ほど減少した。

別会計77億円で、合計186億円であった。
行財政改革の取り組みとして、平成17年度から行政改革に取り組んでおられるが、具体的な取り組みの一つとして中学校の統合を今年度議決されており、また、公共施設運営は47施設の12施設を指定管理者に委託され、1施設を譲渡されていた。
合併後各地区（村）の支所は、旧役場から社会福祉施設や温泉福祉施設などに移行し、旧庁舎は企業への賃貸借ができるように条例改正をして、企業誘致も可能となっている。
職員の意識改革として、事務・事業評価を各課、各事業について実施されている。
これは、およそ600

事業に関してチェックリストを作成し、各事業の事業費などを計上して維持、拡充、縮小の評価を下し、補助金などの見直しの判定材料にするというものである。
このほか、企業誘致活動や観光客誘致の取り組みを、町単独ではなく人吉市を中心とした近隣市町村と連携し、広域的に実施することにより、地域全体の活性化と生産性の向上をはかっていた。

委員会の意見

不況に見舞われ、かつ当初予想していなかった諸問題が発生し、今後一層厳しい財政運営を強いられることは確実な情勢である。
議会としても、行政の

より効率的な執行と財政の健全運営に関して研究を重ねるべきであるし、市においても歳入の増、歳出の削減に向け、他市町の動向も参考にし、住民負担の増加に関しては住民との対話・説明を十分におこないながら、更なる行政改革を推し進める努力を望む。



▲あさぎり町役場にて

人 事

人権擁護委員を再任

人権擁護委員は現在、嬉野町に4名、塩田町に4名の方が就任され、協力をしていただいております。

今回、中島雪枝氏の任期満了に伴い、再び推薦したいとのことで、議会

の意見を求められ、全会一致で同意しました。

中島雪枝氏は塩田町の馬場下在住で、任期は平成21年7月1日から平成24年6月30日までとなります。

教育委員の選任に同意



教育委員会委員については、瀬戸口直子氏（53才）の選任に同意しました。

瀬戸口氏は塩田の谷所

在住で、任期は平成21年4月1日から平成25年3月31日までで、4年間教育行政に携わっていただくこととなります。これからよろしくお願いたします。

待ちに待たれた古湯の起工式

3月30日に古湯温泉建設予定地において、古湯温泉の起工式がとりおこなわれました。

いよいよ来年の完成に向けて工事が始まります。現場周辺は道幅も狭く、住宅密集地でもあり、工事期間中は建設資材の搬

入や騒音などが予想されます。

嬉野温泉のシンボルとして市民が待ち望んだ古湯建設です。工事中の安全に対しては特段の配慮をお願いしたいものです。



▲古湯温泉の起工式

『俵岩』に紹介看板が設置される



▲嬉野観光のスポットに

市内嬉野町下岩屋の大黒には、林道沿いに玄武岩の特徴である規則正しく六角柱状になった岩が露出している所があり、このたび、これを紹介する看板が設置されました。

この岩は鉛筆を並べたような形状をしており、むかし溶岩が水平や斜めに流れたのではなく、地下から地表に向かって噴出してできたものと考えられます。

日本列島形成に至るダイナミックな地殻変動の根せきを残す貴重な景観

で、遠くから見ると、まるで俵を積み重ねたように見えることから、昔から俵岩と呼ばれています。

議会広報編集委員会

委員長
副委員長

小田 寛之
大島 恒典
山口 榮一
太田 重喜
秋月留美子
梶原 睦也